



奈良教育大学附属中学校

1947年に奈良師範学校附属中学校として創設。日々の授業にICTやアクティブラーニングを積極的に取り入れ、生徒が主体となって取り組む学校行事や生徒会活動、卒業研究などを通し、新しい時代を生きるための人間力の育成に努めています。

高画質・多機能電子黒板×スライドシステムで従来課題を払拭 個別最適化された学びの姿を目指し、教育DXを推進

ICT機器教育部を設置するなど、ICT活用教育に注力する奈良教育大学附属中学校は、老朽化したプロジェクター型電子黒板を液晶ディスプレイ一体型電子黒板「MIRAI TOUCH」に刷新。併せて黒板のホワイトボード化と可動式スライドレール設置により、さまざまな従来課題を払拭。利便性の向上と共に、授業の理解度を深める教育DXを推進し、個別最適化された新たな学びの形を探求しています。

※MIRAI TOUCHはさつき株式会社の商標または登録商標です。



課題

既設のプロジェクター型電子黒板が老朽化、低照度や固定式の不便さも課題に

本校は早くからICT活用教育に注力してきましたが、GIGAスクール構想がスタートしてからのこの3年間は、さらに一段とICT活用が加速しました。ICT機器教育部を設置し、校内のみならず県内外の他校にもICT活用教育を広めることが大学附属校の使命でもあります。

その中で、設置から10年以上が経過したプロジェクター型の電子黒板が、故障の際の部品手配がままならなくなるなど多くの課題を抱えていました。投影照度が低いため使用時には教室の照明を消し、遮光カーテンを閉める必要があり、コロナ禍では換気との兼ね合いで問題となりました。さらに、利用のたび黒板に投影用のスクリーンを張る・外す手間がかかり、固定式のため位置を変えられない不便さも感じていました。



選定

複数製品を比較検討し、MIRAI TOUCHとスライドレールの組み合わせを選定

電子黒板を刷新するにあたって当初求めた要件は、大型ディスプレイ型であること、操作が簡単であること、生徒が使用するChromebookとの連携がスムーズであることなどでした。メーカー4社の製品を実際に使用して比較検討した結果、本校は液晶ディスプレイ一体型電子黒板「MIRAI TOUCH」（さつき株式会社）を選定しました。

「MIRAI TOUCH」はタッチパネル感度が高く、黒板と変わらない書き味であることや、ChromeOS Flexを搭載しておりChromebookやGoogle Workspace for Educationとの連携性も高く、直感的な操作性が魅力でした。さらに、書画カメラが一体型で提供され、授業でスムーズに利用できる点も優れていました。

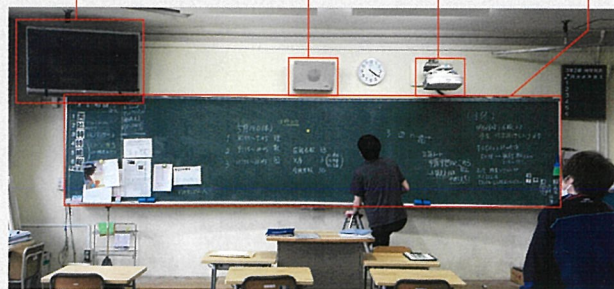
さらに本校では今回の電子黒板刷新に併せて、黒板のホワイトボード化と、電子黒板を左右に移動できる仕組みも検討しました。その結果、本校の曲面黒板にもフィットする設計で、大型ディスプレイでも軽く動かせる機動性と耐久性を兼ね備えた、株式会社北島製作所のスライドシステムを選定しました。



奈良教育大学附属中学校
主幹教諭 研究推進部主任
有馬 一彦 氏

Before

テレビモニター (撤去) 校内放送設備 (更新) プロジェクター (撤去) ホワイトボード化



After

黒板をホワイトボード化 電子黒板 (左右にスライド可能) スライドレール





導入

夏休み期間に32教室の導入を完了、旧設備の撤去から新設まで一貫した対応に満足

施工は2023年の夏休み期間に行いました。電子黒板は32教室に導入、そのうち15教室はスライドシステム、17教室はキャスター付きスタンドでの利用とし、各教室の特性や用途に合わせた最適な仕様を実現しました。

NECネットエスアイに検討段階から豊富な実績を基に新たな提案や電源工事やネットワーク設定におけるアドバイスをいただけたことで、MIRAI TOUCHとスライドシステムを組み合わせるといった漠然としたイメージを具体的な形として実現することができました。施工面においても黒板のホワイトボード化とスライドシステムの設置、新電子黒板の組み込みだけでなく、プロジェクターなど旧設備の撤去や干渉するスピーカーなど教室設備の改造および保全工事まで、一気通貫でスムーズに実施いただき感謝しています。



成果・期待

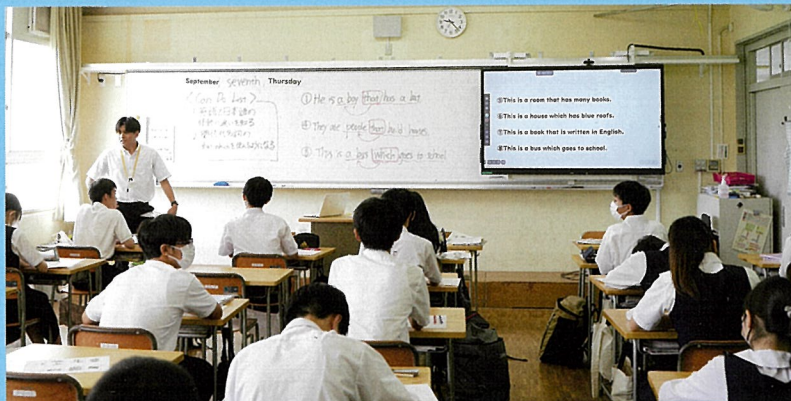
ICTとデジタル教材の活用による教育DXで、個別最適化されたより良い学びを目指す

設置完了後、新学期に登校した生徒たちは、明るくなった教室を見て歓声を上げました。お披露目を兼ねて始業式をオンラインで実施すると、大画面・高画質なディスプレイは教室の後ろの席の生徒にも見やすく、「先生の表情がハッキリわかる」と驚きの反応がありました。日々の授業では、大型ディスプレイとスライドレールの組み合わせにより、従来の問題点を見事に解消。フレキシブルかつスピーディーな資料共有や、さまざまなアプリケーション、デジタル教材の活用など、その可能性は無限であり、先生方にとっても生徒にとっても使いやすく、授業の円滑な進行だけでなく、理解度の向上も期待しています。

今回の導入は、教育DXに取り組む本校に大きな影響を与えると捉えています。教育実習の大学生が見事に使いこなすのを見て、ベテランの先生方も刺激を受けています。今後は遠隔授業や、他校や海外との交流学习などコミュニケーションツールとしての活用も視野に入れているほか、ICT活用で個別最適化された、学びの深化に取り組んでいきたいと考えています。

今回、NECネットエスアイには検討から導入に至るまで、きめ細かなサポートをしていただきました。さまざまな情報を惜しみなく提供いただき、打ち合わせのたびに学ぶことも多かったです。これからも教育DX推進に向けて、変わらぬ協力と支援を期待しています。

設置イメージ/授業風景



NEC
NECネットエスアイ

NECネットエスアイはお客様の課題に寄り添い最適な電子黒板の導入方法をご提案し、機器の設置・構築・保守までワンストップで導入をサポートします。

お問い合わせは、下記のNECネットエスアイへ

〒540-8551 大阪市中央区城見一丁目4番24号

関西パブリックソリューション営業本部

第一ソリューション営業部

TEL:06-6945-8710

E-mail: education-dx-ess@ml.nesic.com URL: <https://www.nesic.co.jp/>

※記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。
※記載内容は、2023年10月現在のものです。予告なく変更する場合がございます。

NECネットエスアイ株式会社 〒108-8515 東京都港区芝浦3-9-14 NECネットエスアイ本社ビル